

熊西まちづくり協議会 生涯学習部会主催

歴史、祭学講座

今年度の三浦先生の歴史講座は大河ドラマからちょっと離れて、北九州市の中心部「小倉」の街にスポットを当てた「小倉三部作」です。小倉は昨年来より三度の大火に見舞われ、まだ復旧途上です。その小倉の歴史に触れ、より小倉を身近に感じ、みんなで応援していきましょう。

【講座について】

- ▶ 5月25日(土) 流人大名顛末記(豊前小倉城主：毛利吉成)
 - ▶ 6月 1日(土) 最後の戦国武将(豊前小倉城主：小笠原忠真)
 - ▶ 6月22日(土) 小倉城炎上(幕末小倉藩の悲劇)
- ・ 講師：三浦 明彦氏 (歴史研究家)
 - ・ 会場：熊西市民センター 多目的ホール
 - ・ 各日とも10:00~12:00 (2時間)



三浦 明彦先生

北九州市立年長者研修大学校や多くの市民センターなどで歴史講座を担当。郷土の歴史をご自身の目で確かめられて分かりやすく解説される講座は人気を博し、当センター名物講座となっている。





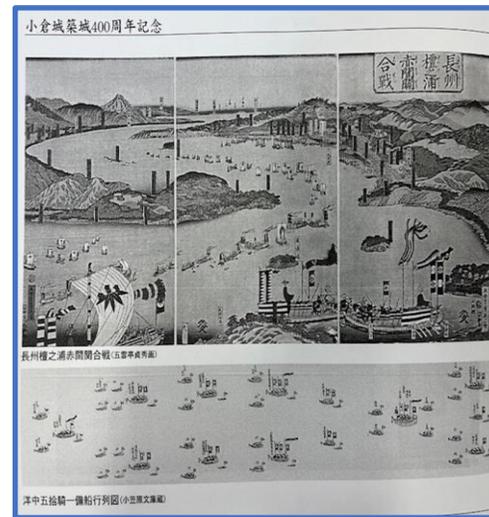
【第1回：流人大名顛末記】

・豊前小倉城主：毛利吉成

あまり知られていない安土・桃山時代の小倉城城主のお話。

本姓は森勝信、豊臣秀吉の一番家来として使え、官僚としての手腕を買われ、九州の玄関口：小倉を封じられ、姓を毛利、名を吉成に改名。(秀吉より一字拝領)

関ヶ原の合戦後に豊臣方について毛利吉成は土佐山内家に配流。



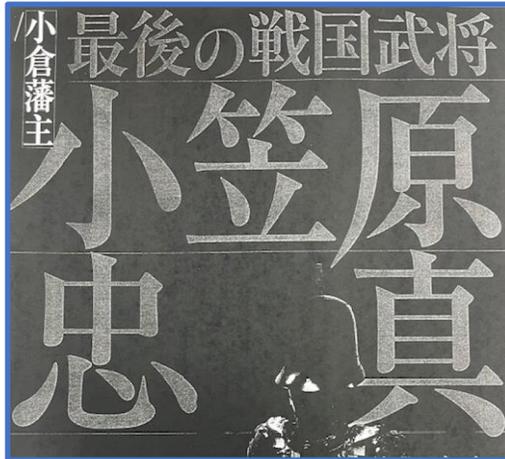
【第3回：小倉城炎上】

・幕末小倉藩の悲劇

幕末、長州藩との戦い、その敗戦による小倉城の自焼、香春・豊津と流転していく小倉藩のお話。幕末の欧米諸国の揺さぶり、国内の王政復古・攘夷論の台頭の中で譜代大名の小笠原・小倉藩が長州との戦いを避けられなかった背景をも解明。若くして家老となった島村志津摩の活躍も興味を抱く。

【主な受講者の声】

- ・いつもながら満足でした。ありがとう。
- ・具体的でわかりやすい(老人向)
- ・三浦先生の話は分かりやすく、楽しく聴けました。いつも有難うございます。
- ・初めて聞く話ばかりで楽しかった。
- ・少し知っていたが、楽しく深掘りできて良かった。
- ・声を通り、理解しやすい。
- ・大変勉強になりました。
- ・小笠原忠真をめぐる歴史的な背景がとても興味深かった。
- ・話術がいつ聞いても素晴らしい。
- ・小倉城、小笠原忠真の歴史がよくわかり、歴史が楽しくなる。
- ・先生の知識の深さに感銘。楽しく学べた。
- ・分かりやすく小倉の歴史を知ることができ、ありがとうございました。
- ・説明が分かりやすい。
- ・先生の話はいつも分かりやすい。
- ・三浦先生の講座は本当に面白いです。歴史好きには楽しみな講座です。
- ・おもしろ楽しくお話が良かった。
- ・普段聞けない内容を聞いて、ワクワクして聞いてます。とても楽しい講座です。
- ・知らなかった事が大変たくさんありました。良かったです。
- ・郷土史等に興味があり、また小倉出身ですが初めて知ることも多く充実しました。



【第2回：最後の戦国武将】

・豊前小倉城主：小笠原忠真

徳川家康の曾孫で、小倉小笠原家の初代である忠真。その忠真の小倉における数多くの業績のお話。清和源氏の血を引く小笠原家作法の騎射、小笠原諸島の名前の由来、大坂夏の陣での負傷、小倉名物：ぬか炊き、上野焼、キセル、小倉織にみる殖産興業の例。約8年小倉に滞在した宮本武蔵などのお話は時間が経つのも忘れるほどでした。